

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地				
鹿児島キャリアデザイン専門学校		昭和63年12月19日		東 祐二		〒 891-0141 (住所) 鹿児島市谷山中央二丁目4173番地 (電話) 099-267-2411				
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地				
学校法人原田学園		昭和34年10月20日		原田 賢幸		〒 891-0141 (住所) 鹿児島市谷山中央二丁目4118番地 (電話) 099-268-3101				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度				
商業実務	商業実務専門課程	医療情報管理学科		平成28(2016)年度		平成27(2015)年度				
学科の目的	日々高度化する技術革新に対応できる知識と技術を備えた医療情報・医療秘書・医療事務に的確に対応できる商業実務分野での人材の育成、ならびに豊かな人間性と創造性を有する国際性豊かで実践的な人材の育成を行うことを目的とする。									
学科の特徴(主な教育内容、取得可能な資格等)	主な教育内容:医療概論、臨床医学各論、医療管理各論、医療情報学、医療統計学、診療情報管理論、国際統計分類、医療事務など、診療情報管理士や病院事務職として従事するためのスキルを学ぶ。また、電子カルテに関連したICT分野も修得する。 取得可能な資格:診療情報管理士、ドクターズクラーク、診療報酬請求事務能力認定試験(医科)、医療事務技能審査試験、医事コンピュータ技能検定2級									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技		
3年	昼	※単位時間、単位いずれかに記入 2,640 単位時間		2,100 単位時間	420 単位時間	120 単位時間	0 単位時間	0 単位時間		
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留學生割合(B/A)	中退率					
90人	75人	0人		0%	0%					
就職等の状況	■卒業者数(C)		30人							
	■就職希望者数(D)		29人							
	■就職者数(E)		29人							
	■地元就職者数(F)		24人							
	■就職率(E/D)		100%							
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		83%							
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		97%							
	■進学者数		0人							
	■その他									
	(令和5年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報)									
■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 総合病院、病院										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有的場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL									
当該学科のホームページURL	<a href="https://www.harada-zakuen.ac.jp/career/subject/management/">URL:https://www.harada-zakuen.ac.jp/career/subject/management/</a>									
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A:単位時間による算定)									
	総授業時数		2,640 単位時間							
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		120 単位時間								
うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間								
うち必修授業時数		120 単位時間								
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		120 単位時間								
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間								
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位時間								
(B:単位数による算定)										
総単位数		単位								
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		単位								
うち企業等と連携した演習の単位数		単位								
うち必修単位数		単位								
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		単位								
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		単位								
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)		単位								
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		2人							
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		1人							
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人							
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人							
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		5人							
	計		8人							
	上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		7人							

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業や関係団体等と連携を図り、新たに必要となる実務に関する知識・技術・技能を授業科目や授業内容に反映し、学生に教授していく為、企業や関係団体等からの意見を十分に活かし、カリキュラムを見直し、改善を図る等の教育課程の編成を行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

(1)の基本方針に従い、教育課程編成委員会を設置し、各学科の教科構成について実務に必要とされる知識・技術・技能などが、該当する学科のカリキュラムに反映されているかを確認する。  
教育課程編成委員会で指摘を受けた内容について、各学科にて分析・検討し、改善すべき項目を委員長である学校長に報告する。学校長が必要と判断した場合には、改善点を各学科の教育責任者に指示する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
山下 かおり	社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター 所長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	①
畑 中 幸 子	公益財団法人昭和会 いまきいれ総合病院 診療情報管理部 課長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
吉 村 秀 雄	社会福祉法人恵会 特別養護老人ホームはっぴー園 第一施設事業部 部長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
鶴 喰 伸 吾	社会医療法人童仁会 池田病院 事務長	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	③
東 祐 二	鹿児島キャリアデザイン専門学校 校長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	—
大宮路 ゆかり	鹿児島キャリアデザイン専門学校 医療情報管理学科 科長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	—
神 掛 浩 子	鹿児島キャリアデザイン専門学校 医療系教員	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	—
米 森 勇 二	鹿児島キャリアデザイン専門学校 医療福祉秘書科 科長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	—
愛 甲 尚 子	鹿児島キャリアデザイン専門学校 医療系教員	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年8月7日 14:00～15:30

第2回 令和6年2月14日 14:00～15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

1 「AIリテラシー」の科目について

情報を適切に扱えるよう医療情報管理学科のカリキュラムに新たに「AIリテラシー」の科目を検討している、という提案について、委員の方々から、AI問診(専用タブレットによる事前問診)を一時的に特定の診療科で使用した事例や、介護ロボット、ケアプラン作成、安眠ネットや眠りSCANなど患者や利用者の体調変化の早期発見につながるシステムの事例を紹介いただいた。

診療情報を取り扱う医療従事者を目指す学科として、医療や福祉の現場で導入されるAIの運用や活用方法を学ぶことが求められると思われるが、導入事例が多岐にわたるためカリキュラム内容を精査する必要がある。

2 「課題研究」の成果について

令和5年9月14日(木)及び15日(金)に第49回日本診療情報管理学会学術大会が青森県十和田市にて開催され、当学科の3年生が学生セッションの部において7演題発表し、最優秀賞、優秀賞と上位3位を受賞することができた。この学生セッションは「課題研究」の成果を発表する場として参加している。

3 「一般常識」について

「数学」から「一般常識」に変更したカリキュラムであるが、診療情報管理士に必要な統計学の序章だけでなく、接遇マナーに関する内容やSPIを取り入れ、「病院実習」や就職活動に活かせるカリキュラムとしたいという提案に、委員の先生方よりカリキュラムの内容充実を求められ、医療従事者(診療情報管理士)の職業に必要な一般常識やマナー及び、医療統計学の学習に必要な基本的な計算や公式などを学び、職業人としてのベースを身につけることを目的とした「一般常識」と統計学的なデータ分析力の向上を図るため「記述統計・推測統計」を追加し、内容充実を図った。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習、実技、演習等は専修学校の教育にとっては非常に重要なものであるため、常に最新の技術や技能を教授する必要がある。そのために本校と企業や関係団体等が密接に連携した体制を構築し、より実践的な職業教育の質の確保ができるよう組織的に取り組む。

また、連携を行う企業等とは協定書等を締結し、校内外で実施される実習・演習等について、指導内容やその学修成果の評価等も含めて、実践的な職業教育を行うものとする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

(1)の基本方針に従い、次の項目について連携を行う。

- ①カリキュラムの作成
- ②実習・演習の計画及び実施
- ③成績評価及び進級判定等に関する助言
- ④その他の実習運営上に必要となる事項

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
病院実習	3. 【校外】企業内実習(4に該当するものを除く。)	病院現場での実務を体験することで、病院の基本的機能を理解し、医療従事者、診療情報管理士として望ましい人間形成を図る。	鹿児島大学病院 公益財団法人昭和会 いまきいれ総合病院 公益財団法人慈愛会 今村総合病院 社会医療法人緑泉会 米盛病院 社会福祉法人恩賜財団 済生会川内病院 等 計22施設

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員等の研修に関する諸規程第2条のとおり、教員は業務経歴や能力、担当する授業の分野に応じて、実務に関する知識、技術、技能の修得および学生に対する指導力等を修得するために、企業等と連携を図り、研修等を計画的に受講し、常に自己研鑽に努め、教育水準の向上を図る。

(2) 研修等の実績		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	診療情報管理士教育事業に関する説明会および意見交換会	連携企業等: 一般社団法人日本病院会
期間:	令和5年6月22日(木)	対象: 専任教員選抜2名
内容	第16回診療情報管理士認定試験報告及び、第17回診療情報管理士試験実施概要について	
研修名:	2023年度教員研修会	連携企業等: 一般社団法人医療秘書教育全国協議会
期間:	令和5年8月23日(木)～9月15日(金)オンデマンド配信	対象: 専任教員選抜1名
内容	今、大きく変化する医療環境, 人材育成の実践 他	
研修名:	診療情報管理士養成校の学生対象Webセミナー	連携企業等: 久留米大学バイオ統計センター公開セミナー開催事務局
期間:	令和5年9月2日(土)	対象: 専任教員選抜2名
内容	演題発表(学生セッション)予演会 他	
研修名:	第49回日本診療情報管理学会学術大会	連携企業等: 日本診療情報管理学会
期間:	令和5年9月14日(木)～9月15日(金) 対面およびオンデマンド配信	対象: 専任教員選抜2名
内容	演題発表(学生セッション, 一般演題)他	
研修名:	第33回診療報酬請求事務研修会	連携企業等: 日本医療保険事務協会
期間:	令和5年10月20日(金)～令和6年3月31日(日)まで オンデマンド配信	対象: 専任教員選抜2名
内容	最近の医療保険制度をめぐる動きについて	
② 指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	7つの習慣セルフコーチング スキルアップ研修	連携企業等: (株)FCEエデュケーション
期間:	令和5年6月22日(木), 28日(水)	対象: 教職員6名
内容	「7つの習慣セルフコーチング講座」実施に向けてのスキルアップ研修	
研修名:	防犯研修	連携企業等: 職業教育・キャリア教育財団
期間:	令和5年7月21日(金)	対象: 全教職員
内容	「さすまた」等を利用した不審者対応研修	
研修名:	データから見る2024年度入学生に求められる学生指導とは	連携企業等: (株)進研アド
期間:	令和5年7月25日(火)	対象: 教職員8名
内容	入学者数減少と学力低下が専門学校教育に及ぼす影響	
研修名:	新任指導力(メンタリング)	連携企業等: 職業教育・キャリア教育財団
期間:	令和5年8月9日(水), 10日(木)	対象: 職員1名
内容	新任指導育成のための目標管理力/新任の能力を引き出すためのメンタリング力の修得	
研修名:	令和5年度新任教員研修会	連携企業等: 職業教育・キャリア教育財団 鹿児島県研究研修事業支部委員会
期間:	令和5年8月22日(火)～24日(木)	対象: 教員4名
内容	「学生・教員のための実践心理」「専修学校における職業教育」ほか専修学校教員として必要な基礎的知識の修得	
研修名:	ハラスメントに関するオンライン研修	連携企業等: 成蹊大学教授 原 昌登
期間:	令和5年9月6日(水)～22日(金)	対象: 全教職員
内容	職場のハラスメントの基礎知識, パワーハラスメントの具体例, どうすればハラスメントを防止できるのか	
研修名:	変化する社会に求められる人材の傾向と分析	連携企業等: ベネッセコーポレーション
期間:	令和5年9月20日(水)～22日(金)	対象: 教職員2名
内容	社会の変化が及ぼす教育への影響, 企業への実態調査の報告, 専門学校の教育事例紹介	

研修名:	ファシリテーションを活用した合意形成の効率化	連携企業等:	一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会
期間:	令和5年12月19日(水)	対象:	教職員2名
内容:	ファシリテーション力を利用した有意義な会議の実施及び生産性の向上		
<b>(3) 研修等の計画</b>			
<b>① 専攻分野における実務に関する研修等</b>			
研修名:	診療情報管理士教育事業に関する説明会および意見交換会	連携企業等:	一般社団法人日本病院会
期間:	令和6年6月20日(木)	対象:	専任教員選抜1名
内容:	第17回診療情報管理士認定試験報告及び、第18回診療情報管理士試験実施概要について		
研修名:	2024年度教員研修会	連携企業等:	一般社団法人医療秘書教育全国協議会
期間:	令和6年8月21日(水)～9月13日(金)オンデマンド配信	対象:	専任教員選抜2名
内容:	診療報酬改定と医療機関の動向, 医秘書教育に必要な医療マネジメント 他		
研修名:	診療情報管理士養成校の学生対象Webセミナー	連携企業等:	久留米大学バイオ統計センター公開セミナー開催事務局
期間:	令和6年8月10日(土)	対象:	専任教員選抜2名
内容:	演題発表(学生セッション)および「口頭発表とポスタ発表の違いとポイント解説」等		
研修名:	第50回日本診療情報管理学会学術大会	連携企業等:	日本診療情報管理学会
期間:	令和6年8月22日(木), 23日(金)	対象:	専任教員選抜2名
内容:	演題発表(学生セッション, 一般演題) 他		
研修名:	第34回診療報酬請求事務研修会	連携企業等:	日本医療保険事務協会
期間:	令和6年10月中旬～令和7年3月末まで(予定) オンデマンド配信	対象:	専任教員選抜2名
内容:	認定試験学習を医療現場に活用, 請求事務の誤り事例 他		
研修名:	日本医療秘書学会第22回学術大会	連携企業等:	一般財団法人 日本医療秘書学会
期間:	令和7年2月16日(日)(予定)	対象:	専任教員選抜1名
内容:	「メディカルスタッフとしての未来予想図Ⅱ」		
研修名:	「診療情報管理研究会セミナー」	連携企業等:	鹿児島診療情報管理研究会
期間:	令和7年2月(予定)	対象:	専任教員選抜2名
内容:	診療情報管理士の実務研修等		
<b>② 指導力の修得・向上のための研修等</b>			
研修名:	多層化する専門学校生を最新データで読み解く 中退防止に向けた学力向上への取組	連携企業等:	株式会社進研アド 株式会社Weness
期間:	令和6年6月25日(火)	対象:	教員1名
内容:	学力の多層化が進む状況から推測される事象や影響, 特に中途退学について		
研修名:	先生と生徒のためのアンガーマネジメント実践方法	連携企業等:	一般社団法人日本アンガーマネジメント協会
期間:	令和6年7月18日(木)	対象:	教員7名
内容:	怒りで後悔しないために, 上手に怒る技術と向き合う姿勢を身につける		
研修名:	未来の先生フォーラム2024特設サイト【オンライン】	連携企業等:	未来の先生フォーラム2024 実行委員会
期間:	令和6年7月29日(月)～8月2日(金)	対象:	教職員5名
内容:	全体テーマ「学校教育の未来」		
研修名:	PBL研修	連携企業等:	金沢工業大学 教職課程 木村竜也
期間:	令和6年8月1日(木)	対象:	教職員12名
内容:	PBLの基本概念や成功事例、効果的な導入方法について学ぶ		

研修名:	令和6年度新任教員研修会	連携企業等:	職業教育・キャリア教育財団 鹿児島県研究研修事業支部 委員会
期間:	令和6年8月20日(火)～22日(木)	対象:	教員1名
内容	「学生・教員のための実践心理」「専修学校における職業教育」ほか専修学校教員として必要な基礎的知識の修得		
研修名:	令和6年度キャリアデザ職員研修	連携企業等:	鹿児島純心短期大学 生活学科 中島 賢太郎
期間:	令和6年12月23日(月)	対象:	全教職員
内容	発達に課題を抱えている学生に対する理解とアプローチ方法		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について自己評価を行うことにより、学校としての組織的・継続的な改善を図る。また、自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の実施とその結果を公表することにより、適切に説明責任を果たすとともに、特色ある学校づくりを進めることにより、関連業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を教授できるよう学校運営の改善と学校教育の発展を目指す。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	①学校の理念・目的は定められているか ②社会のニーズ等を踏まえた学生の将来構想を抱いているか ③学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ④各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
(2) 学校運営	①学園の運営方針に沿った事業計画が策定されているか ②運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ③人事、給与に関する規程等は整備されているか ④教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ⑤情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3) 教育活動	①業界のニーズに沿った教育課程の編成を行っているか ②教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ③学科等のシラバスは体系的に編成されているか ④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか ⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ⑥関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ⑦授業評価の実施・評価体制はあるか ⑧職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ⑩資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ⑪関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ⑫職員の能力開発のための研修等が行われているか
(4) 学修成果	①就職率の向上が図られているか ②資格取得率の向上が図られているか ③就職先企業を訪問するなどして卒業生の実態を把握しているか

(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>①進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>②学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>④課外活動に対する支援体制はあるか</li> <li>⑤経済的支援制度利用についての情報提供を行っているか</li> <li>⑥必要に応じて保護者との連携が図られているか</li> <li>⑦卒業生への支援体制はあるか</li> <li>⑧高等学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>②学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか</li> <li>③防災訓練を定期的実施しているか</li> </ul>
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学生募集活動は適正に行われているか</li> <li>②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</li> <li>③授業料等、徴収する金額はすべて明示しているか</li> </ul>
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校の収支のバランスは取れているか</li> <li>②予算編成は教育目標・業務計画と整合性があるか</li> <li>③財務について会計監査を適切に実施しているか</li> <li>④財務の情報公開はされているか</li> </ul>
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>④自己評価結果を公開しているか</li> </ul>
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</li> <li>②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</li> <li>③地域に対する公開講座やイベント支援等を積極的に実施しているか</li> </ul>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>①留学生の受け入れを行っているか</li> <li>②留学生の受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか</li> <li>③留学生の学修・生活指導等が適切に行われているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。

### (3) 学校関係者評価結果の活用状況

- (1) 「1.教育理念・目標」に関し、令和5年度はアドミッションポリシーを中心に、各科3つのポリシーの見直しを図った。令和6年度は在校生、オープンキャンパスへの参加高校生を中心に、積極的にポリシーの周知を図るとともに、再定義したポリシーを再評価して、今後の行動指針策定に向けての土台とする。
- (2) 「4.学修成果」に関し、卒業生の実態把握についてのご意見をいただいた。現状は在校生の実習の有無や県内・県外で隔たりがあるため、今後一律に実態把握ができる仕組みを検討する。
- (3) 「5.学生支援」に関し、コロナ禍を経て、人とのコミュニケーションが苦手な学生が増加傾向にあるので、まずはクラスでのコミュニケーション力向上に向けての取り組みや、自己分析の指導等を強化し、そのうえで、面接指導のあり方等、各学科とキャリアセンターの連携を一層強化していく。また、卒業生への支援体制についても、更にアプローチを容易にするための仕組みづくりについて検討していく。
- (4) 「10.社会貢献・地域貢献」に関し、「やらされるボランティア活動から将来の自分へつなげるボランティア活動へ視野を広げる」必要性についてご意見をいただいた。学科の特性により、ボランティア活動に積極的な科とそうでない科があるが、どの科も学習している内容を活かした地域貢献(小中学生対象の職業体験等)を通じて、自己成長できるイベント等が出来ないか、模索していく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和6年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
重山 茂仁	株式会社鹿児島頭脳センター IT事業部 次長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	卒業生
大橋 紘一	社会福祉法人常盤会 顧問	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(1年)	企業等委員
宮之原 明子	株式会社清友 代表取締役	令和5年5月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
新納 武彦	鹿児島情報高校 校長	令和5年5月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
久木元 駿	社会福祉法人常盤会 総務部長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

[https://www.harada-gakuen.ac.jp/career/files/joho-kokai/R04\\_gakkouhyouka.pdf](https://www.harada-gakuen.ac.jp/career/files/joho-kokai/R04_gakkouhyouka.pdf)

公表時期: 令和6年8月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

情報提供の方法は、誰もが比較的容易にアクセスすることが可能な本校ホームページにて公表する。  
 また、企業や関係団体等の学校関係者に対しては、年度始めに学校関係者評価委員会を開催し、学校長より当該年度の運営方針等を説明し、様々な教育活動の情報の公表を行った上で、実践的な職業教育のための更なる連携を深めるよう依頼を行う。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	①教育理念 ②学校の概要(連絡先等) ③学校の沿革 ④学則等 ⑤「鹿児島キャリアデザイン専門学校」の3つのポリシー
(2) 各学科等の教育	①修業年限・定員 ②学科紹介・取得可能な資格 ③「各学科」の3つのポリシー ④シラバス
(3) 教職員	①組織図・教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	①就職支援 ②卒業後の進路(就職先一覧)
(5) 様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②サークル紹介 ③施設紹介
(6) 学生の生活支援	①学生寮紹介
(7) 学生納付金・修学支援	①学生納付金(入学金・学費・併修費) ②奨学金・教育ローン ③各種免除制度
(8) 学校の財務	①財務諸表等
(9) 学校評価	①自己評価表 ②学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	①日本語科設置 ②アドバンス日本語科設置
(11) その他	①高等教育の修学支援制度における機関要件確認申請書 ②職業実践専門課程の基本情報について

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL: [https://www.harada-gakuen.ac.jp/career/school/joho\\_koukai/](https://www.harada-gakuen.ac.jp/career/school/joho_koukai/)

公表時期: 令和6年9月30日

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 医療情報管理学科)																
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			キャリアデザイン	学校生活上必要な書類作成や学校行事（学園祭やイベント大会等）におけるクラス内の話し合いを行う「クラス運営」の時間にするとともに、就職活動に必要な知識・技術・心構え等を修得する。また、適宜キャリアセンター職員による講義を実施する。さらに、郷中教育により能動性やコミュニケーション力を養う。職業理解を深めるため、医療現場で活躍されている方の特別講義を実施する。	1・2・3通	180	6	○			○		○		
2	○			秘書実務	社会人としての心構え，言葉遣い，電話対応等社会で必要とされる基本的マナーを学び，即戦力となる人材を目指す。	2後3前	60	2	○			○				○
3	○			一般常識	医療従事者（診療情報管理士）の職業に必要な一般常識やマナー及び，医療統計学の学習に必要な基本的計算や公式などを学び，職業人としてのベースを身につける。	1前	30	1	○			○			○	
4	○			医療概論	医学と医療に関する歴史的変遷を知ったうえで，社会保障制度の枠組みである「所得保障」，「医療保障」，「公衆衛生」，「社会福祉」の原則と実態を知り，社会規範である関連法規の知識を得て，医療の社会的役割を総合的に理解する。	1前	30	1	○			○				○
5	○			人体構造・機能論	基本的な人体の部位，診断名の理解の為に，器官，臓器が構成要素であるどのような細胞，組織から成り立ち，いかに他の器官と連携をもち，機能的にどのような連携作業をして，人体としてのいとなみに関わっているのかを学習する。	1後2前	60	2	○			○				○
6	○			臨床医学総論・腫瘍学	臨床医学総論として疾患の原因，病態，診断，治療について学び，また先天性疾患，外因性傷病等，及び新生物，皮膚・筋骨格系の各疾病について知識を修得する。また，新生物（腫瘍）の発生組織・臓器，良性・悪性，原発性，続発性，転移性等新生物の概要を理解し基本的知識を修得することを目的とする。	1後2前	60	2	○			○				○

7	○		臨床医学各論1	感染症の原因となる細菌，ウイルス，新生物，血液・造血器，栄養・代謝，内分泌系等の障害により，病態が全身に関わる各疾病などについての基本的知識を修得する。	1通	90	3	○			○									
8	○		臨床医学各論2	生命の維持に直接関わる呼吸器・循環器の疾病及び，腹部に位置する各種臓器（消化器系，泌尿器系）疾病，併せて身体の形態，運動器に関わる骨，筋肉，関節，皮膚などの疾病についての基本的知識を習得する。	2前	90	3	○			○									
9	○		臨床医学各論3	周産期疾病について，その特徴，症状・所見，診断法，治療法の概要を学び，各種診療記録の記載などを理解し，適切な病歴診断名につなげる知識を修得する。	1後2前	60	2	○			○									
10	○		医学用語	人体の構造・機能，症状，診断名，医療行為などの必要な専門用語を修得し，診療記録を適切に理解できることを目的とする。	1通	60	2	○			○									
11	○		医療管理総論・各論	我が国の医療提供システムの特徴を知り，欧米諸国との相違を認識し，特徴的なわが国の医療保険制度を理解し，医療の実務に対応する為の知識を充実させる。病院を的確に維持，運営していくうえで重要な，経営管理，医療管理，安全管理，医療の質の管理について基礎的な知識を学ぶ。 また，診療情報管理士として習得すべき，より実務的な診療報酬制度を理解する。	2後3通	150	5	○			○									
12	○		保険医療情報学・統計学	医療情報システムの実際，診療情報の倫理的側面，適切な手段により体系的に情報処理を行う方法，病院経営者・医療従事者に対する意志決定支援の方法などについて学ぶ。 また，医療情報のデータベース化と統計的方法による医療情報の解析方法，及び統計資料について適切に解釈する方法を学ぶ。	2後3通	150	5	○			○									
13	○		診療情報管理論	診療記録ならびに医療情報にかかわる法規及び，病院組織における診療情報管理の在り方について学ぶ。 また，診療情報を管理する目的や意義を十分に理解し，各々の環境ごとに診療情報の運用方法について学ぶ。	2後3通	120	4	○			○									
14	○		国際統計分類	疾病の分類を中心に，その概念・種類・目的及び診療録に記載された内容について，WHO刊行のICD-10を用いた分類コードをつけるための理論と技法を修得する。 さらに診療録の具体例や，退院時要約，死亡診断書の記載内容についての理解と知識を深め，それらの活用能力を身につけることを目指す。	2前3通	150	5	○			○			○						



24	○		コンピュータ概論 1	ITに携わる職業人として、誰もが共通に備えておくべき基本的な知識の習得を目的とする。PCを使わずに業務をすることがない診療情報管理士や医療事務を目指す者として、おさえておきたい基本的なITの基礎知識を学び、実際にPCを用いて演習を行う。情報検定（J検）情報活用試験 3級の取得を目指す。	1通	60	2	○		○	○						
25	○		コンピュータ概論 2	パソコンが広く活用されるようになった現代社会において、診療情報管理士も業務上、パソコンのスキルを求められるようになっていく。コンピュータ概論 1を踏まえて応用力を習得する。また、情報処理検定（J検）2級の取得を目指す。	2通	60	4	○		○	○						
26	○		医療情報データベース	病院では、患者一人一人のデータをまとめ、動向、医療情報を知ることができる。SQLの操作方法を学び、利用時のデータがどのように有効活用できるかという技術を習得する。	2通	60	2		○	○	○						
27	○		記述統計・推測統計	記述統計はデータを要約し理解を深め、推測統計はサンプルから母集団を推定し、意思決定を支援する統計学である。診療情報管理士としてデータ分析力の向上を目指す。	1前 2後 3前	90	3	○		○	○						
28	○		課題研究	グループワークを主とし医療にまつわるテーマを決め、それについて調査、研究、発表を行うことで、診療情報管理士としてのデータ収集力、探求心、プレゼン力を身に付ける。学会等での発表の機会があり、診療情報管理士としてのスキルを上げる。	2後 3前	120	4		○	○	○						
29	○		診療情報管理士試験対策	診療情報管理士認定試験の合格に向けて、診療情報管理 I・II・III・IVの内容を復習し知識及び技術の習得に努める。	3後	150	5	○		○	○						
合計				29科目	2,640単位時間( 92単位)												

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
日数が、各学年の出席すべき日数の3分の2を超えており、教科の出席 卒業要件：が時数の3分の2を超え、かつ教科の成績が不可（60点未満）でないこと。また、授業料等が完納していること。		1学年の学期区分	2期
履修方法：一般科目、専門科目共に全科目を必修とする		1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。